※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説　日本史　改訂版』（山川出版社）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院）、『日本史重要語句Check List』（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去から現在への歴史の流れについて認識し、その上で現代の諸問題について考察し、より良い社会を構築する一助とする。
・現在自分が生きる国の歴史について必要な知識を持つことにより、国際社会で活動するために必要な他国の歴史や異文化を理解し尊重する姿勢を養う。
・公正かつ客観的な視点で、歴史的事象を多面的に捉える柔軟な視点を持つ。

２　学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を，世界史的視野に立って総合的に考察させる。
・我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる。
・歴史的思考力を培い，国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	資料を読み取る学習を通して日本の歴史への関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。 他地域や他国の文化を尊重し、国際社会に生きる人間としての態度を養っている。	資料を読み取る学習から、現代日本の諸課題を見出し，多面的・多角的に考察し，公正に判断している。	日本の歴史に関する写真や文献・地図などの諸資料を通して歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史についての基本的な事項について、地理的条件や世界史的背景と関連付けて理解し、身につけている。 資料を読み取る学習を通して，歴史を考察する基本的な方法を理解している。
評価方法	ワークシート ［主題学習］ ワークシート	定期考査 ワークシート ［主題学習］ レポート	定期考査 ワークシート ［主題学習］ ポスター	定期考査 ワークシート ［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:幕藩体制の動揺とその対応策としての諸改革および近代化の基盤形成について多角的に考察している。 b:幕府の衰退と雄藩の出現過程を国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応も踏まえて考察している。 c:史料や絵画資料などから幕府や諸藩の政策の内容、庶民文化としての化政文化における近代化への萌芽を読み取ることができる。 d:諸改革の内容、列強の接近にともなう対応や社会の変容を理解している。	定期考査 ワークシート
	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際環境が変容する中、新政府の制度改革や経済政策などに着目して近代国家の基盤の形成過程を考察する。 b:近代国家の成立と条約改正交渉の進展、日清・日露開戦に至る経緯について諸外国の動向と関連づけて考察する。 c:史料などから政府の諸政策の内容と意図、その社会的影響などを読み取る。 d:近代国家における政治・社会・経済の発展について、その問題点も含めて客観的に理解する。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

2学期	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:第一次世界大戦前後の世界の政治や社会運動の動向について関心を持ちつつ、我が国における政党内閣の成立や市民文化などについて考察する。 b:世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について客観的に考察する。 c:文献資料などから当時の国際情勢と日本政府の動向を客観的に読み取る。 d:両大戦が日本の社会や経済にもたらした影響をその内容も含めて客観的かつ公正な知識を身につけていること。	定期考査 ワークシート
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・占領期の文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:連合国の占領政策、講和後の日米関係について、様々な国の立場から考察している。戦後政治の動きを踏まえて、日本国憲法制定の意義を理解している。 b:国際情勢の変化を踏まえ、占領政策と民主化政策、それに伴う諸改革、日本の独立について理解している。 c:史料・映像資料などから、諸政策の内容や意図を読み取ることができる。 d:戦後の占領政策や民主化政策、冷戦の開始と講和などについて客観的かつ公正な知識を身につけ、理解している。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

3学期	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ ・高度成長期の文化	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:国際社会への復帰にともなって生じた問題や経済成長がもたらした社会問題に関心を持ち、その経緯について考察している。 b:経済復興と国際社会への復帰、その後の高度経済成長について、政治・外交、生活の変化などに着目して考察している。 c: 史料・映像資料などから、社会と生活の変化を読み取ることができる。 d:政治や経済などで国際社会の動向を背景に客観的・公正な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a:環境問題などに関する日本の課題と果たすべき役割について認識している。 b:冷戦の終結と冷戦後の国際情勢について、政治・外交・経済・生活文化などの面を踏まえて、多角的に考察している。 c: 史料・映像資料などから、冷戦の終結と冷戦後の変化を読み取ることができる。 d:国際社会の動向と日本の政治や経済について客観的・公正な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。